

ニュースファイル

「菊池事件」再審求めネットで募金

ハンセン病患者とされた男性が殺人罪などに問われ、死刑執行された「菊池事件」の再審開始を求める弁護団が27日、無罪の立証活動に充てる資金を集めるため、インターネットで寄付を募るクラウドファンディング(CF)を始めたこと発表した。

事務局長の馬場啓弁護士は熊本市内で記者会見し「菊池事件の解決なくしてハンセン病問題の解決はない。ぜひ協力してほしい」と呼び掛けた。集めた資金は、有識者による意見書を作成するための費用に活用。菊池事件が全国的に知られていないとして、概要を伝えるパンフレットを制作し配布する。

寄付は3000円から受け付け、目標額は500万円。期限は11月26日まで。寄付をした支援者には活動報告がメールで届く。CFサイトのアドレスはhttps://readyfor.jp/projects/kkch

冬の味覚、下関でフグ初競り

冬の味覚、フグの季節到来を告げる「初競り」が27日未明、日本有数のフグ取扱高を誇る山口県下関市の南風泊仮設市場であり、天然と養殖のトラフグ計約2.2トンを競り落とされた。1キログラム当たりの最高値は昨年を2000円下回る1万8000円。主な出荷先の関東や関西が緊急事態宣言下であり、飲食店の需要が減ったことで全体的に安値となった。



「袋競り」でフグを競り落とす仲買人ら。27日未明、山口県下関市。

午前3時20分ごろ、競り人と仲買人が筒状の黒い袋の中で指を握り合って値段を決める「袋競り」で取引が行われ、約15分で全てのフグが競り落とされた。

南風泊市場は日本唯一のフグ専門市場。老朽化に伴う建て替え工事が行われており、初競りは仮設の建物で開かれた。

中国、ウルトラマン一時削除

【北京共同】中国の動画配信サイトから特撮番組「ウルトラマンティガ」の中国語版が一時削除され、視聴できなくなった。当局が暴力的シーンを問題視し、規制に乗り出したとの見方がある。中国メディアによると、削除は24日。ファンから「子どもから夢を奪うなんて怪物のようだ」と嘆く声も相次ぎ、27日午後には再び視聴可能となった。

24日、動画配信大手、愛奇艺(アイチーイー)などで「ティガ」が、一斉に表示されなくなった。短文投稿サイト、微博(ウェイボ)で「ティガ削除」の検索数が急上昇するなど注目を集めた。

一時削除された理由は不明。中国でメディアを管理する国家ラジオテレビ総局はこのほど「暴力や血なまぐさい」シーンのあるアニメ作品を「断固阻止する」方針を示した。江蘇省当局が未成年の成長に影響を及ぼす可能性があるとして4月に公表した作品リストに「ティガ」が挙がっていた。



加藤博之佐賀労働局長(左)から認定通知書を受け取る鶴松造園建設の鶴田忠嗣社長(右)佐賀市佐賀第2合同庁舎

鶴松造園建設(唐津市)を認定

佐賀労働局(加藤博之局長)は、若者の採用・育成や労働環境整備に積極的に取り組むユースエール企業に、唐津市畑島の造園会社「鶴松造園建設」を認定した。県内の認定は18社目。

鶴松造園建設は吉野ヶ里歴史公園(神埼市)や海の中道海浜公園(福岡市)などの公園の施工、管理のほか、個人宅の庭の手入れや街路樹の除草などを手掛けている。有給休暇の平均取得実績が年間14・8日と基準の10日を上回り、ここ3年間の離職者もゼロとなるなど、12の認定基準を満たした。

佐賀市の佐賀第2合同庁舎であった認定通知書交付式で鶴田忠嗣社長(59)は、「10年、20年後を見据えて会社をどう維持していくか。若い人たちに定着してもらうためにも、認定を取

り続けられるようにしたい」とあいさつ。利益幅を圧縮してでも、一つの現場により多くの人手を投入し、技術の継承や休日を取りやすい態勢を整えていることを紹介した。

ユースエールは厚生労働大臣が認定する制度。企業側には、認定企業限定の就職面接会への参加、公共調達における加点評価などのメリットがある。全国で認定を受けた企業は7月末時点で1097社

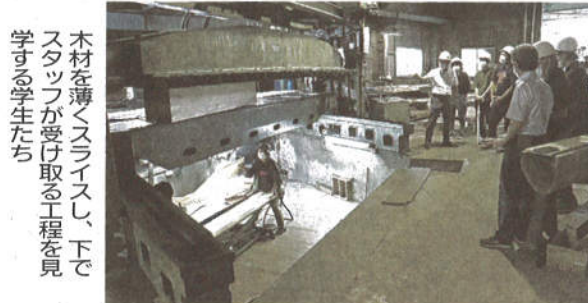
環境守る木製品知って



スキノウッドについて説明する中村展章社長(左)佐賀市諸富町の中村製材所

佐賀市・中村製材所

佐賀市諸富町の中村製材所(中村展章社長)は、佐賀大学理工学部(学生たち)に企業としてのSDGsの取り組み事例を紹介した。学生たちは3日間の集中講義で学びを深めた。



木材を薄くスライスし、下でスタッフが受け取る工程を見学する学生たち

中村製材所は2006年、持続可能な森林活用・保全を目的に、適切な森林管理を認証する国際的なFSCのCoC認証(加工・流通過程管理)を取得。環境を守りながら地域経済にも貢献できる木材や木製品を提供してきた。樹齢の若い木でも高品質な風合いを醸し出す突板「SKINWOOD(スキノウッド)」を独自に開発。適切な森林の伐採サイクルで資源に負

荷をかけないことを目指している。今回の学生向けの講義では、生態系に配慮した木材を活用したことで新たな注ぎにつながったことなどを紹介。中村社長は「建築分野でも購入時の判断材料が変わってきている」と語り、同製材所では小径木を並べて集材材をつくる過程や、突板の工場での木材を1ミリの薄くスライスする過程を見学。学生からは驚きの声が上がった。

理工学部4年の江村征法さんは「100年先を考えて名木を残そうという意識や行動はすごい」と話した。学生たちはスキノウッドが内装壁材として使用されている佐賀県庁や佐賀市役所なども見学した。

「在籍型出向」30日セミナー ハローワーク鳥栖 新型コロナウイルスの感染拡大で雇用不安が続く中、会社に籍を残したまま他の会社で働く「在籍型出向」などについて理解を深めるセミナーが30日午後2時から、鳥栖市のハローワ

ーク鳥栖で開かれる。佐賀県と佐賀労働局、産業雇用安定センター佐賀事務所が「労働移動支援セミナー」と題して共催する。雇用維持が難しい事業所や、逆に人材確保が必要な事業主などが対象で、在籍型出向について紹介するほか、出向時の賃金や経費の一部を助成する「産業雇用安定助成金」についても解説する。参加無料。申し込み書に事業所名を記入し、メールで申し込む。問合せは、県地域活性化プロジェクト課。電話0952(3)5200

ANAあきんど社長 高橋誠一さん(58)



4月にANAの全国的拠点巡りにあきんどセルスから現場の声を聞く活動の一環で来佐した高橋誠一社長には近江生まれの「ANAあきんど」は力にいろいろな角度から光を当て、新たな地域創生事業に当てることで活性化に貢献する。新たな航空需要も掘り起こせばと意気込みを語った。

地域創生 なるような禍の巣もあって好調なふという。飛ぶと納税をす方、ふるた人が将来される旅行者がある」と話すと納税仲

若手女性社員向け働き方セミナー 10月4日、佐賀市で自分流の働き方を見つけようという、「若手女性社員向けライフマネジメントセミナー」(女性の活躍推進佐賀県会議など主催)が10月4日、ガーデンテラス佐賀ホテル&マリッピアで開かれる。県内で働く人社5年以内、30代までの女性社員が対象で、参加無料。募集している。参加無



佐賀大学ダイバーシティ推進室の荒木薫中野建設管理本貴子課長らが登壇は午後2時〜型コナウイラ拡大する場合はセミナーとなる。問い合わせは推進佐賀県会議話0952(2)5200